

政策シート

(政策名) 自分らしさを大切にする子どもの育成

(予算費目名) 市立高校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた全人教育を実践し、「規律ある進学校」を目指す。日本の中央、政令指定都市・浜松唯一の市立高校として、地域になくてはならない、選ばれる学校を目指す。

- ・文武両道の教育方針のもと、知・徳・体のバランスの取れた人間を育成する。
- ・基礎的学力を十分に備え、自ら考え、行動できる人間を育成する。
- ・グローバルな視野をもつリーダーとして、広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

◇関連するSDGsのゴール

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	97,091	97,574	119,489	108,193	124,853
決算	92,015	93,795	109,170	101,195	
人件費(A)	546,500	546,500	553,700	549,300	542,500
報酬(B)	7,775	7,397	6,385	4,615	8,456
年間経費(予算又は決算+A+B)	646,290	647,692	669,255	655,110	675,809

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
国公立大学合格者数	人	150	目標	150	150	150	150	150
			実績	131	166	154	170	
全国大会出場部活動数	部	10	目標	10	10	10	10	10
			実績	13	10	6	13	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた全人教育を実践し、「規律ある進学校」を具現化。日本の中央、政令指定都市・浜松唯一の市立高校として、地域になくてはならない、選ばれる学校を目指す。

- ・文武両道の教育方針のもと、知・徳・体のバランスの取れた人間を育成する。
- ・基礎的学力を十分に備え、自ら考え、行動できる人間を育成する。
- ・グローバルな視野をもつリーダーとして、広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・校訓「誠・愛・節」の精神に基づき、自立的人格の育成と、規律と責任のある生活態度を養っている。
- ・高い学習意欲、幅広い教養、論理的思考力などを有した市立生を育成している。
- ・生徒会活動、学級活動、行事などの特別活動や部活動を通じて人間性を高める指導を行っている。
- ・安心安全な教育環境を整備している。
- ・教職員の努力、生徒の積極的な活動により、平成30年度は、国公立大学合格者数及び全国大会出場部活動数は目標を上回り、十分な取組みがなされている。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	市立高校教育事業			○		535,843	19,397	70.0	2.0	1.0	3.0	8,246
2	市立高校管理運営経費			○		139,966	105,456	3.7			3.0	210
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						675,809	124,853	73.7	2.0	1.0	6.0	8,456

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 市立高校教育事業

◇事業目的・事業対象

・「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた全人教育を実践し、「規律ある進学校」を目指す。日本の中央、政令指定都市・浜松唯一の市立高校として、地域になくてはならない、選ばれる学校を目指す。
 ・日本の中央、政令指定都市・浜松唯一の市立高校として、地域になくてはならない「選ばれる学校」を目指す。

◇事業の概要

- ・規律、責任、品位ある生活態度の定着
- ・学力の保証
- ・広く社会に貢献できるリーダーとしての資質能力の育成
- ・キャリア教育の充実と高い志を持った進路実現
- ・安心・安全な教育環境の整備
- ・家庭・地域等との連携
- ・教職員の資質能力・組織力の向上及び効果的な学校業務改善

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計			—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	16,743	17,154	17,174	17,505	19,397
	決算	15,456	15,549	14,243	15,973	
	国・県支出					
	市債					
	その他	61	86	96	74	103
	一般財源	15,395	15,463	14,147	15,899	19,294
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)		7,565	7,187	6,175	4,405	8,246
人件費 (千円)		512,400	512,400	512,400	515,000	508,200
人工	正規	72.0	72.0	72.0	72.0	70.0
	再任用(h31)					2.0
	再任用(h26)				1.0	1.0
	非常勤	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
国公立大学合格者数							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	150	150	150	150	150	150	150
実績値	131	166	154	170			
-							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
全国大会出場部活動数							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	10	10	10	10	10	10	10
実績値	13	10	6	13			
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・規律、責任、品位ある生活態度の定着
- ・学力の保証
- ・広く社会に貢献できるリーダーとしての資質能力の育成
- ・キャリア教育の充実と高い志を持った進路実現
- ・安心安全な教育環境の整備
- ・家庭・地域等の連携
- ・教職員の資質能力・組織力の向上及び効果的な学校業務改善

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・全人教育を標榜し、勉強のみならず部活動や学校行事を教育の大きな柱に据え、生徒には、それらすべてに一生懸命に取り組み、そのプロセスの中で、人間として必要なことを学び、社会に通用する人間力を高めている。
- ・多くの生徒が勉強と部活動の両立をしており、運動部、文化部の全国大会出場の実績を残している。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・キャリア教育を推進し、生徒が将来的に社会に適応していくための力を身につけさせる。
- ・模試の結果等を時系列に分析し、次の成果に結びつくよう活用し、それぞれの生徒にとって最高の進路目標を達成する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

市立高等学校の教育事業運営経費として、現状程度の事業規模が必要である。

事業シート (事業名) 市立高校管理運営経費

◇事業目的・事業対象

市立高等学校の管理・運営に必要となる光熱水費、維持管理等経費を有効かつ効率的に執行する。
これまでに設置したコンピュータ機器等の維持運用管理を行う。

◇事業の概要

- ・市立高等学校を管理・運営していくため、職員、生徒に要する経費及び施設を維持していくための管理や補修費に関する事務を行う。
- ・コンピュータ機器等の維持運用管理を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
—	—	一般会計			—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	80,348	80,420	102,315	90,688	105,456
	決算	76,559	78,246	94,927	85,222	
	国・県支出	80	90	96	98	448
	市債					
	その他	1,354	931	1,381	1,386	1,044
	一般財源 一般会計繰入金	75,125	77,225	93,450	83,738	103,964
人件費(報酬等) (千円)		210	210	210	210	210
人件費 (千円)		34,100	34,100	41,300	34,300	34,300
人工	正規	3.7	3.7	4.7	3.7	3.7
	再任用(h31)					
	再任用(h26)	1.0	1.0			
	非常勤	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・市立高等学校を管理・運営していくため、職員、生徒に要する経費及び施設を維持していくための管理や補修費に関する事務を行う。
- ・コンピュータ機器等の維持運用管理を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

市立高等学校の管理運営に必要な光熱水費、施設を維持していくための管理や補修費、消耗品の購入などを執行した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設設備の修繕箇所が増大に伴い、予算流用を行い、緊急を要する箇所の修繕を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

経年劣化による施設設備修繕が頻繁になっており事業費確保が必要である。

政策シート

(政策名) 自分らしさを大切にすることの育成

(予算費目名) 市立高校建設費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

学校施設設備整備事業の実施
全面建替以降26年を経過し、補修・改修を要する設備、箇所が増えているなか、緊急性と重要性を勘案し、適時に整備事業を実施する。

◇関連するSDGsのゴール

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	43,402	34,611	66,967	53,595	40,625
決算	42,273	33,650	66,860	52,179	
人件費(A)	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	44,373	35,750	68,960	54,279	42,725

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
			目標					
			実績					
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

学校施設設備整備事業の実施
全面建替以降25年を経過し、補修・改修を要する設備、箇所が増えているなか、緊急性と重要性を勘案し、適時に整備事業を実施した。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
校務棟空調設備更新、受水槽漏水修繕、講堂舞台吊物昇降装置更新、放送室スタジオ空調設備更新などを行ったことにより、使用環境が以前より大変良くなっているなど、改善の効果が現れているが、まだまだ学校施設設備の整備、充実を図る必要がある。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	学校施設整備事業			○		42,725	40,625	0.3			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						42,725	40,625	0.3			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 学校施設整備事業

◇事業目的・事業対象

夢と希望を与え、健康で文化的な教育環境を提供するため計画的に学校施設整備の整備、充実を図る。

◇事業の概要

受変電設備更新
講堂舞台吊物昇降装置スイッチ交換
緊急対応修繕工事

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計			-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	43,402	34,611	66,967	53,595	40,625
	決算	42,273	33,650	66,860	52,179	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	42,273	33,650	66,860	52,179	40,625
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

校務棟空調設備更新
 受水槽漏水修繕
 講堂舞台吊物昇降装置更新
 放送室スタジオ空調設備更新
 緊急対応修繕工事

・事業の成果と課題

指標の達成度

不明

- ・学校施設設備の整備、修繕を行い、教育環境の改善、充実を図った。
- ・経年劣化している学校施設整備の更新が十分でない。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・施設の適正な維持管理を行う事業であり、整備、維持補修を行うことによって適正な財産管理と学校環境整備の充実を図るため、十分な予算確保が必要である。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・市立高等学校が平成3年から5年にかけて建設され、経年劣化による改修が必要不可欠であり、今後も、改修計画に基づき事業費確保が必要である。